

徳島大学リーダーークライス 明るく、元気いっぱい仲間たちとともに



課題は歌の表現力

練習会場から聞こえてくる男女の美しいハーモニー。徳島大学リーダーークライスは40年以上の伝統があり、部員は現在50名、男女約同数の混声合唱団です。
練習は毎週月・木・土に3時間ほど行います。というのも、6月には県の合唱祭、9月に四国合唱コンクール、そして今年は10月の育樹祭にも参加、さらに12月には定期演奏会と多忙なスケジュールだからです。
中でも四国合唱コンクール(全日本合唱コンクール四国支部大会)は大学部門の県代表として参加。優勝

すれば全国大会への出場となるため、日頃の成果が試されます。歌うのは課題曲と自由曲(決められた時間内から複数選曲することも可)。夏休み中には合宿を行いノドに磨きをかけます。
「長い伝統の中で、先輩たちは素晴らしい成績を残してきました。でも最近は少し実力が出し切れていないので、今年こそはとがんばっています」
と、今年団長になった山口さん。4年生になると就職活動などのために実際の部活動も今年が最後。
「今の課題は、単にうまく歌うだけでなく、どう表現力をつけるかということ。今年には新入生に合唱経験者が何人かいるので、もっとレベルアップしていきたいです」
と抱負を語ってくれました。



団結力で美しいハーモニー

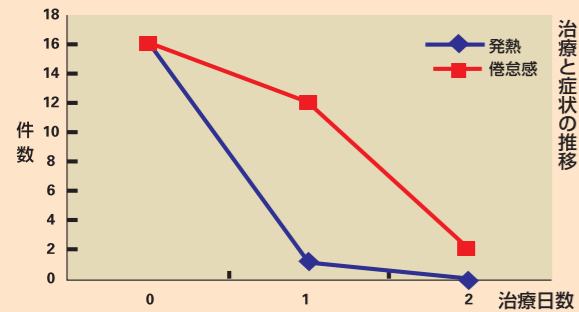
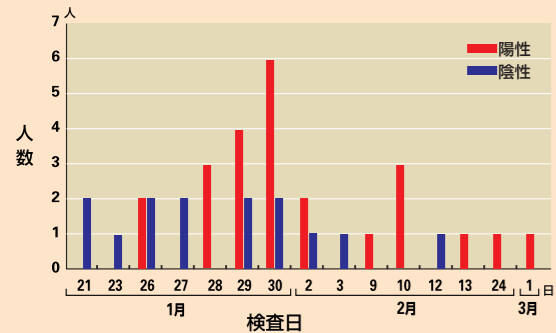
ほとんどの部員は入学してから合唱を始めます。しかしみんな歌は好きなので、どんどん合唱の魅力に引かれて上達しています。
合唱は全員の気持ちが一つにならなければ美しいハーモニーは生まれません。そのために夏休みの合宿だけでなく、5月には県合唱祭に向けての新入生歓迎合宿、12月の定期演奏会前の合宿と、それぞれの発表会に向かって気持ちを盛り上げていきます。

なお合宿は、5月と夏休みが日和佐町(今年には会場の都合で愛媛県)、定期演奏会前の合宿は淡路島で行っています。

果はどうだったでしょうか、休む間もなく育樹祭に向けての練習をこなすこと。入部希望や見学は月・木(午後5時から)、土(午後1時から)の練習にどうぞ。場所は学生会館か常三島体育館の2階です。

団長

工学部建設工学科3年
山口 大輔 やまぐち だいすけ



なっています。迅速検査薬はA型とB型の判別も可能ですが、全員がA型インフルエンザでした。検査陽性者に対しては全員にタミフルを投与しました。タミフルは発症から48時間以内の早期投与が必要であるとされていますが、今回タミフルを投与した17名中2〜3人は発症から48時間を過ぎていたようにも思われました。しかし投与後の結果は非常に良好でほとんどのケースで翌日には解熱を認めており、全身倦怠感も速やかに軽減する傾向にあり、投薬の効果は十分あったと考えられました(図2)。タミフルの標準投与プロトコルは5日間となっていますが、以上の結果より若い学生さんなどでは2〜3日で充分ではないかと考えられました。最近タミフルの重要な副作用として精神症状が報告されましたが、今回の投与においては明らかかな副作用は認められませんでした。検査と治療薬で約5000円ほどの費用が必要となるため患者さんがピークの時期には予算面での心配しなければなりません。今年には予防接種への対応を検討する等予防対策にも重点を置く必要があると考えています。

保健管理センターでは昨年末にインフルエンザの迅速診断キットと抗インフルエンザ薬(タミフル)を導入、感染者の確認と治療を行うこととしました。そこで今回はこの機会を借りてこの冬の本学でのインフルエンザの流行状況とタミフルによる治療効果について報告させていただきます。
まずインフルエンザについて少し説明しておきます。インフルエンザはA、B、C型がありますが、特に大流行を引き起こす問題となるのはA型です。インフルエンザウイルスにはノイラミニダーゼ(N)とヘマグルチニン(H)という2つがありこの2つの抗原性により亜型に分けられます。現在流行している亜型はH1N1型とH3N2型です。それぞれ連かぜとホンコンかぜと呼ばれています。この2つの型が毎年少しずつ抗原性を変えながら流行しているわけです。ちなみに日本でも発生し大問題となった鳥インフルエンザの亜型はH5N1型です。いままで流行したヒトインフルエンザでH5型はなく、鳥インフルエンザがヒト型に変異することが心配されているわけです。
図1は当センターに来所した38℃以上の発熱者に対して行った迅速診断の結果です。本学での流行は1月の後半から発生し特に1月28日以降は受検者および陽性者が急激に増加し1月30日にピークを示しています。以降減少傾向に転じ、2月の12、13日には収束傾向と

インフルエンザの流行と治療

前田 健一 保健管理センター
まえだ けんいち

保健管理センターでは昨年末にインフルエンザの迅速診断キットと抗インフルエンザ薬(タミフル)を導入、感染者の確認と治療を行うこととしました。そこで今回はこの機会を借りてこの冬の本学でのインフルエンザの流行状況とタミフルによる治療効果について報告させていただきます。